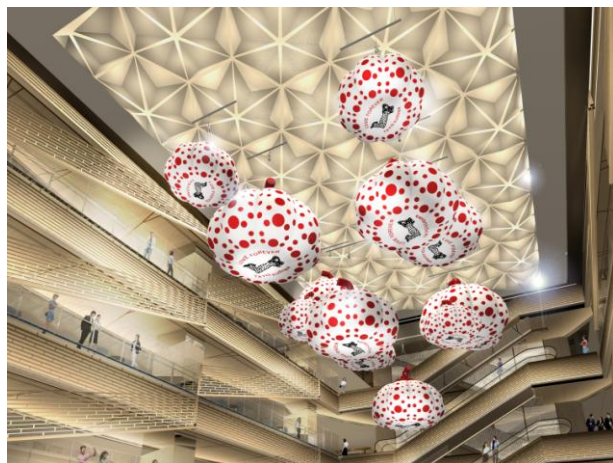


ワールドクラスクオリティの241ブランドが集結する大規模商業施設 「GINZA SIX」で展開するパブリックアートを決定 草間彌生、チームラボ、大巻伸嗣など 世界的な現代アーティストの作品と商業空間のコラボレーション

GINZA SIX リテールマネジメント株式会社(J.フロント リテイリング株式会社、森ビル株式会社、L Catterton Real Estate、住友商事株式会社の共同出資会社)は、2017年4月20日(木)に開業する銀座エリア最大の商業施設「GINZA SIX(ギンザ シックス)」にて、アーティストやクリエイターとのコラボレーションによる、クリエイティブなエネルギーと驚きの要素に満ちた、感性を刺激するアートプログラムを展開します。



※イメージ ©YAYOI KUSAMA



※イメージ ©YAYOI KUSAMA

草間彌生氏による新作インスタレーション《南瓜》(GINZA SIX 2F 中央吹き抜け)

施設中央の大きな吹き抜け空間では、オープニングを飾る展示として森美術館の監修のもと、世界のアートシーンで活躍する前衛芸術家 草間彌生による新作インスタレーションを期間限定で展示します。また、エレベーターホール等のパブリックスペースには、国内外で活躍する注目のアーティスト、大巻伸嗣、船井美佐、堂本右美の作品を常設展示します。

その他、館内2カ所(中央通り側と三原通り側の吹き抜け)にある、高さ約12mの壁面(リビングウォール)には、ウルトラテクノロジスト集団のチームラボと、植物学者兼アーティストのパトリック・ブランが手掛ける作品を展示。また、上顧客のための特別なラウンジ「LOUNGE SIX(ラウンジ シックス)」内には、世界的な現代美術家 杉本博司の作品を展示します。

歴史、伝統、品格、文化、そして革新という様々な顔を持つ“銀座”に誕生するGINZA SIXは、世界でここにしかないもの、ここでしか味わえない体験の創出を目指し、商業施設とアートのコラボレーションに挑戦します。身近にアートと触れ合える機会を増やし、豊かな生活を提案します。

銀座に新たな磁力と歴史を創り出す。2017年4月20日、「GINZA SIX」の誕生にご期待ください。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

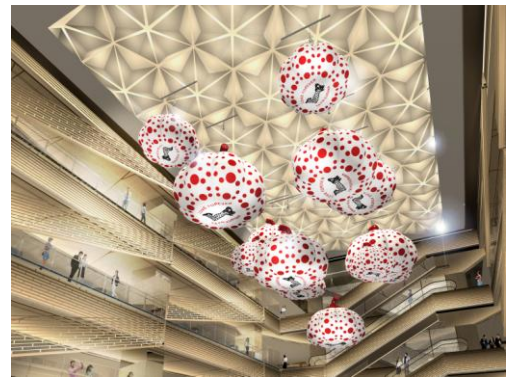
GINZA SIX PR 事務局(株式会社サニーサイドアップ内) 担当: 鈴木隆仁、岩崎彩加、澤井亨
TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050 E-MAIL: ginzasix_pr@ssu.co.jp
HP: <http://ginza6.tokyo/>

前衛芸術家 草間彌生によるオープニング展示インスタレーション

施設中央に位置する大きな吹き抜け空間では、森美術館の監修のもと、世界のアートシーンで活躍する前衛芸術家 草間彌生の新作インスタレーションを期間限定で展示し、開業を盛り上げます。

草間彌生は 60 年代にニューヨークのアートシーンに参加し、以後活発に活動を続けてきた、日本人としてはもっとも国際的に名前を知られたアーティストです。作品の重要なイメージはドット(水玉)とネットであり、またモチーフとしては、しばしばカボチャが登場します。

GINZA SIX では、草間彌生に中央吹き抜けのための作品をコミッションし、白地に赤いドットのカボチャが 14 個完成しました。これらのカボチャは三種類のサイズからなるバルーンでできており、新たに日本の顔として誕生した GINZA SIX を象徴する作品として、中央吹き抜けにシャンデリアのように吊り下げられます。



※イメージ ©YAYOI KUSAMA

■草間 彌生 <南瓜>

展示場所 : 2F 中央吹き抜け

展示期間 : 2017 年 4 月 20 日(木)~2018 年 2 月 25 日(日)

前衛芸術家 草間彌生 プロフィール

1929 年、長野県松本市生まれ。美術学校で日本画を学び、1957 年単身渡米。ニューヨークを拠点に活動を開始し、以来その斬新な表現は世界で絶賛される。1998 年日本人で初めてニューヨーク近代美術館(MoMA)で大規模個展を開催。2016 年には文化勲章を受章するなど受賞歴多数。現在国立新美術館で最新作を含む個展「草間彌生 わが永遠の魂」が開催中。今月より北米巡回個展もワシントン D.C のハーシュホーン美術館を皮切りにスタート。



©YAYOI KUSAMA

■期間限定ショップ “YAYOI KUSAMA POP UP STORE「わが永遠の魂」“ がオープン

国立新美術館(六本木)で開催中の「草間彌生 わが永遠の魂」展に関連し、草間彌生のポップでカワイイグッズを集めた POP UP ストアが期間限定オープンします。水玉やカボチャといった代表的なモチーフを使ったグッズや「草間彌生 わが永遠の魂」展の限定グッズ等、ステーションナリー、バッグ、T シャツ、アクセサリ、食器やお菓子等をラインナップします。

店名 : YAYOI KUSAMA POP UP STORE 「わが永遠の魂」

場所 : GINZA SIX 4F イベントスペース

期間 : 2017 年 4 月 20 日(木)~2017 年 5 月 16 日(火) 10:30~20:30

取扱い商品(一例) :

1966 年の第 33 回ヴェネチア・ビエンナーレでの 1,500 個のミラーボールを芝生の上に敷き詰めた作品「ナルシスガーデン」をモチーフにした、シルバーアクセサリ。「Narcissus Garden Ring」は、スクエアなリングを2つ重ね付けすると、ミラーボールの上に横たわる草間氏を再現します。裏側にはメッセージ「LOVE FOREVER」が入っています。



YAYOI KUSAMA Ring(左上) 59,400 円(税込)
Narcissus Garden Ring(右下) 75,600 円(税込)



Narcissus Garden Pins 75,600 円(税込)



Narcissus Garden necklace 48,600 円(税込)

パブリックアートを常設展示

GINZA SIX では、身近にアートと触れ合える豊かな生活を提案します。森美術館の監修による、国内外で活躍する注目のアーティスト3名の作品を常設展示します。

【展示作品】

■大巻 伸嗣 <<Echos Infinity -Immortal Flowers->>

江戸小紋柄の朝顔、桔梗、菊の花々、蝶の形を組み合わせた彫刻作品。江戸小紋は一見、下地に見えるように細かく規則正しく文様を配した小紋柄のひとつ。これは江戸時代に発令された、派手な着物を禁じた「奢侈禁止令」に対し、いかに細かい微細な柄を掘り出し染め上げるかを職人たちが競い合い、その図柄を洗練させてきた結果であり、その時代の美意識の象徴です。

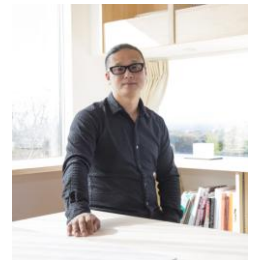
※作家メッセージ「ここに堆積する時間や記憶、文化、人の思いを、これから先に繋げるための不滅の花を生ける。」

素材：FRP、ミラー、シルクスクリーンプリント

設置場所：2F、3F、4F、5F 南エレベーターホール

大巻 伸嗣(おおまき しんじ)プロフィール

1971年岐阜県生まれ。「トーキョーワンダーウォール 2000」に『Opened Eyes Closed Eyes』で入選以来、『Echoes』シリーズ(資生堂ギャラリー、水戸芸術館、熊本現代美術館、東京都現代美術館等)、『Liminal Air』(東京ワンダーサイト、ギャラリーA4、金沢21世紀美術館、アジアパシフィック・トリエンナーレ 2009、箱根彫刻の森美術館等)、『Memorial Rebirth』(横浜トリエンナーレ 2008)など、展示空間を非日常的な世界に生まれ変わらせ、鑑賞者の身体的な感覚を呼び覚ますダイナミックなインスタレーション作品やパブリックアートを発表している。2017年4月YCCヨコハマ創造都市センターでの個展を開催予定。



撮影:
Katsuhiro Ichikawa

※過去の作品例



<<重力と恩寵>>
2016年
2016 Aichi Triennale
Organizing Committee
撮影:Ito Tetsuo



<<Echoes Infinity
-Moment and Eternity->>
2016年
2016 Aichi Triennale
Organizing Committee
撮影:Ito Tetsuo

■船井 美佐 <<楽園／境界>>

「楽園と境界」をテーマに、空間全体をキャンバスととらえ、鏡を使って構成し描かれることで、絵画空間と現実が交差するという作品です。絵の前に立つ者は絵の中に映り込み、鑑賞者が絵画の主役となります。誰の頭の中にもある架空の楽園のイメージを鏡で描く事で、行き交う人や現実の景色と想像の世界とが混じり合い、2次元と3次元、在るものと無いもの、過去と現在、理想と現実が反転して一つになり、新しい空間の広がりやビジョンを生み出します。これらは人々のイメージネーションによって未来が形作られることを象徴しています。

素材：ステンレスミラー

設置場所：3F、4F、5F 北エレベーターホール

船井 美佐(ふない みさ)プロフィール

1974年京都生まれ。2001年筑波大学大学院芸術研究科修了。2002年関口芸術基金絵画大賞展にて大賞受賞・NYに美術研修滞在。2009・2010年「VOCA 現代絵画の展望-新しい平面の作家達-」上野の森美術館、2014年「ワンダフルワールド」東京都現代美術館、2015年「こどもと旅する美術館」美ヶ原高原美術館、2015年個展「楽園/境界〜どこにもない場所〜」奈義町現代美術館に出品。2017年には国際芸術センター青森にて個展を開催予定。



※過去の作品例



<<HOLE/桃源郷/境界
/絵画/眼底>>
2010年、鏡、木材
上野の森美術館



<<Paradise/Boundary>>
2014年、ミクストメディア
東京都現代美術館
撮影:木奥恵三

■堂本 右美 <<民 tami B.>><<民 tami Y.>><<民 tami R.>>

GINZA SIX のために新しく描かれた絵画は、たゆたう色の上に躍動感あるかたちが重ねられ、その対比によって奥行きのある広大な空間が広がります。開放的で無限のような空間は我々の無意識であり、踊っているように描かれたかたちは我々が見えているものの一部(意識)のようにも感じられます。商業スペースから少し離れた空間にある、鮮やかな色彩の絵画。その前を通る人々は、無意識と意識の二重構造によりくりひろげられる堂本の絵画的空間へと誘われます。

素材: 油彩、カンヴァス

設置場所: 3F、4F、5F 通路

堂本 右美(どうもと ゆうみ)プロフィール

1960年パリ生まれ。多摩美術大学絵画学科卒業後、クーパー・ユニオン芸術学部(ニューヨーク)卒業。
1990年、佐賀町エキジビット・スペース(東京)での初個展以来、国内外の数々の展覧会に参加。1995年と1999年にVOCA展奨励賞受賞、2008年に第19回タカシマヤ美術賞を受賞。作品は、国立国際美術館、高松市美術館、東京国立近代美術館、広島市現代美術館などに収蔵されている。



撮影:安斎重男

※過去の作品例



<<TAMI-3>>
2016年
油彩、カンヴァス
162 x 194 cm
撮影:桜井ただひさ

高さ約12mの壁面(リビングウォール)には、対となる2つのアートを展示

館内2カ所(中央通り側と三原通り側の吹き抜け)にある、高さ約12mの壁面(リビングウォール)には、JTQ谷川じゅんじプロデュースによる、対となる2つのアート作品を展示します。一方は、日々の日没とともに様子を変えるデジタルインスタレーション作品を、ウルトラテクノロジスト集団のチームラボが手掛けます。もう一方は、植物学者兼アーティストのパトリック・ブランによる、日本に生息する固有種の植物を織り交ぜたアート作品を展示します。

■ウルトラテクノロジスト集団 チームラボ

<<Universe of Water Particles on the Living Wall (ユニバース オブ ウォーター パーティクルズ オン ザ リビングウォール)>>



※イメージ

日々の日没とともに様子を変える滝を描いた、デジタルインスタレーション作品です。岩にはもう一つのリビングウォール(パトリック・ブランの作品)の植物と同種の植物が生えています。三次元空間上に立体的に描かれた滝を、チームラボが考える「超主観空間」によって映像作品にしています。

※チームラボによる作品説明

「仮想の三次元空間に岩を立体的につくり、その岩に水を落下させています。水は、無数の水の粒子の連続体で表現し、粒子間の相互作用を計算しています。滝を物理的な水の運動シミュレーションとして構築しています。そして、全体の水の粒子の中からランダムで選んだ0.1%の水の粒子の挙動によって、空間上に線を描きます。その線の集合体で滝を描いています。つまり、無数の線の裏側には、その1000倍もの水の粒子が存在し、それらの全体の相互作用によって、線の曲線が決定しています。」

サイズ : H11,810×W1,920 mm

仕様 : Digital Installation, LED, Endless

設置場所 : リビングウォール 中央通り側吹き抜け

チームラボ

プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、絵師、数学者、建築家、ウェブデザイナー、グラフィックデザイナー、編集者など、デジタル社会の様々な分野のスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。アート、サイエンス、テクノロジー、クリエイティブの境界を越えて、集団的創造をコンセプトに活動している。

<https://www.team-lab.net/jp/>



■植物学者兼アーティスト パトリック・ブラン 《Living Canyon (リビング キャニオン)》

日本に生息する固有種も含めた様々な植物を織り交ぜた、パトリック・ブランオリジナルの、土を使用しない垂直的平面アート作品。作品名の通り、太陽の光に照らされた崖の頂上から、影に覆われた深い谷底を表しています。あらゆる気象的勾配にも植物が生息しているのは、各品種が固有の光エネルギーに完璧に適応している為です。植物品種の多様性は繊細な植物界の「美」、「創造力」、「戦略」を反映しています。

サイズ：H11,020×W2,700 mm

仕様：パトリック・ブランの著作権 8810705

「土を使用しない垂直的平面におけるヴェジタル・ウォール」

設置場所：リビングウォール 三原通り側吹き抜け



※イメージ

パトリック・ブラン (Patrick Blanc) プロフィール

1953年パリ生まれ。植物学者・アーティスト。世界の様々な環境下で多くの「垂直庭園」プロジェクトを手がける。主なプロジェクトにパリのケ・ブランリ美術館やシドニーのワン・セントラルパーク、金沢21世紀美術館「緑の橋」など。



新素材研究所デザインの「LOUNGE SIX」にアーティスト杉本博司の作品を展示

上顧客のための特別なラウンジ「LOUNGE SIX(ラウンジ シックス)」。コンシェルジュが常駐し、お客様へ One to One のおもてなしをいたします。空間デザインは新素材研究所の杉本博司氏と榊田倫之氏が手掛けます。日本ならではの伝統的素材に現代的なディティールをほどこした独自のデザインは、新しい日本の美意識を感じる空間を演出します。

ラウンジ内には、杉本博司の作品を展示します。杉本は1970年代からニューヨークを拠点とし、〈ジオラマ〉〈劇場〉〈海景〉などの大型カメラを用いた精緻な写真表現で国際的に高い評価を得ている世界的なアーティストです。本人がデザインを手掛けた静謐な空間に代表作が展示され、訪れる方に特別な時間と空間を提供します。



Lake Superior, Cascade River, 1995
gelatin silver print
©Hiroshi Sugimoto/Courtesy of Gallery Koyanagi



Stylized Sculpture 023, 2007
gelatin silver print
Designer: Madeleine Vionnet, 1925
©Hiroshi Sugimoto/Courtesy of Gallery Koyanagi

杉本 博司(すぎもと ひろし)プロフィール

1948年東京生まれ。1970年に渡米、1974年よりニューヨーク在住。徹底的にコンセプトを練り上げ、8 x 10 インチの大型カメラで撮影する手法を確立。精緻な技術によって表現される作品は世界各地の美術館に収蔵。2008年建築家の榊田倫之と建築設計事務所「新素材研究所」設立。2017年2月5日展示室等の改装デザインを手がけた MOA 美術館(熱海)がリニューアル・オープン。同秋には小田原文化財団江之浦測候所がオープン予定。主な著書に『趣味と芸術-味占郷』(ハースト婦人画報社編・講談社)、『空間感』(マガジンハウス)、『アートの起源』『現な像』『苔のむすまで』(新潮社)。2009年高松宮殿下記念世界文化賞、2010年紫綬褒章、2013年フランス芸術文化勲章オフィシエ等受賞・受章多数。



※参考：LOUNGE SIX(ラウンジ シックス) 空間イメージ

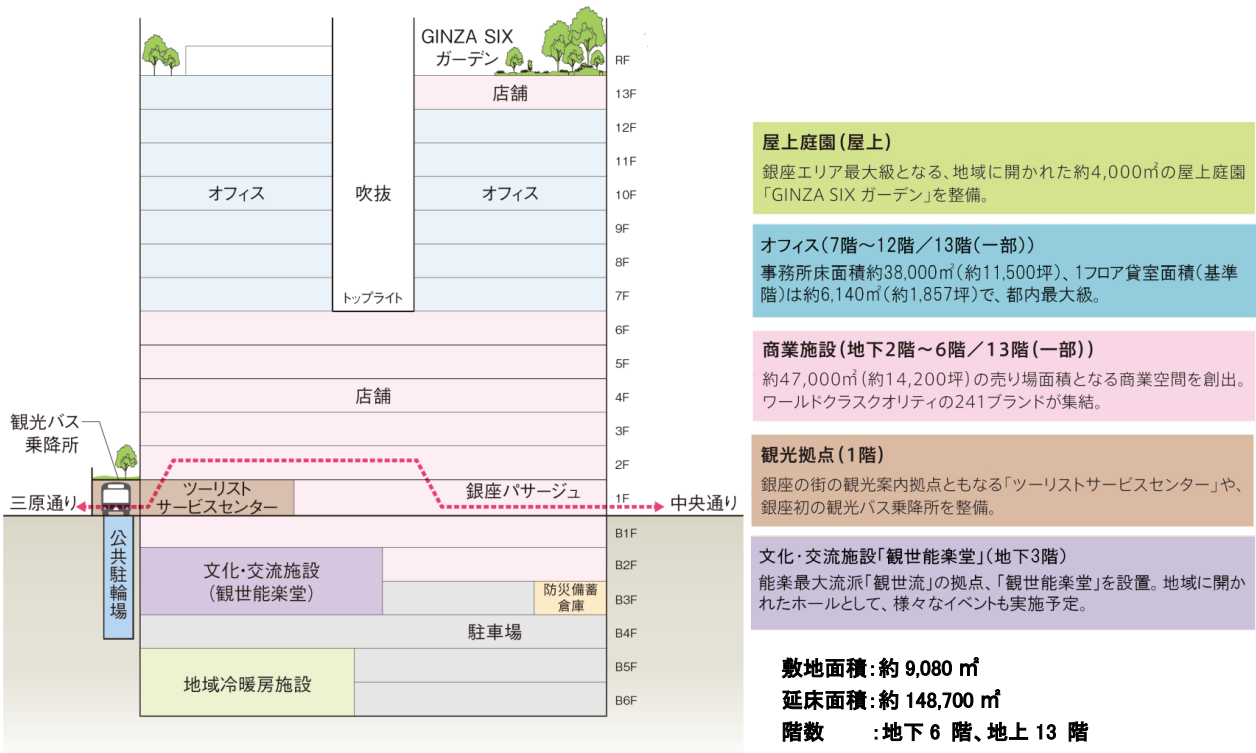


<参考資料>

ワールドクラスクオリティと文化性をもつ大規模複合施設

GINZA SIX は、「松坂屋銀座店」跡地を含む街区ならびに隣接街区の 2 つの街区で構成された約 1.4ha を一体的に整備した再開発事業です。

銀座中央通りに面して、間口約 115m、奥行約 100m、延床面積約 148,700 m²、銀座エリア最大の複合施設として誕生する「GINZA SIX」は、2 街区一体整備の再開発事業により、銀座エリア最大規模（約 47,000 m²、241 店舗）を誇る商業施設をはじめ、都内最大級の 1フロア貸室面積約 6,140 m²を有する大規模オフィスや、日本の伝統文化を発信する文化・交流施設「観世能楽堂」など、多彩な都市機能を配置。また、屋上庭園や観光バス乗降所、安全で快適な交通・歩行者ネットワーク、さらに、非常用発電設備や帰宅困難者 3,000 名の受入れに備えた防災備蓄倉庫等の防災支援機能を整備するなど、地域に開かれた場所として、世界中から訪れる来街者の利便性や快適性向上に大きく貢献するとともに、東京を代表する国際的な街「銀座」における、新たな磁力となります。



日本最高の商業地「銀座」に、エリア最大規模で誕生

銀座エリア最大の商業施設面積約 47,000 m² (約 14,200 坪) に、241 店舗が出店します。世界のコレクションで注目される旬なブランドが揃い、ここに来れば日本の今がわかる、世界の最新トレンドが体感できる最高の店舗ラインナップを実現しました。銀座の象徴である中央通りに面する全長(間口)約 115m には、世界を代表する 6 つのラグジュアリーブランドが旗艦店として 2～5 層の大型メゾネット店舗を構え、個性的なファサードにより銀座の新たな顔を創り出します。

ファッション以外にも、暮らしを彩るライフスタイル雑貨や、こだわりのレストラン・カフェなどが揃います。また、上質な空間、メンバーシッププログラム、プレミアムサービス、クリエイティブなアートやイベントにより、充実の時間と体験を提供します。

- ◇ 開業日 2017 年 4 月 20 日
- ◇ 所在 東京都中央区銀座六丁目 10 番 1 号
- ◇ 商業施設面積 約 47,000 m² (約 14,200 坪) ※共用通路等を含む
- ◇ 店舗数 241 店舗 (物販 210、飲食 24、サービス 7)
- ◇ フロア構成
 - 地下 2 階 食物販
 - 地下 1 階 ビューティ
 - 1 階～5 階 ファッション、服飾雑貨、ライフスタイル雑貨、カフェ他
 - 6 階 書籍、レストラン他
 - 13 階(一部) レストラン、バンケット他
- ◇ 営業時間
 - 物販・サービス 10:30～20:30
 - 飲食 11:00～23:30 ※一部店舗により異なる



2017 年 2 月 1 日撮影